

**巻頭言 : 小池渺先生のご退職にあたって、小池渺
教授 略歴・主要業績**

著者	植村 邦彦
雑誌名	關西大學經濟論集
巻 号	67 3
発行年	2017-12-10
URL	http://hdl.handle.net/10112/16451

巻頭言——小池渺先生のご退職にあたって——

小池渺先生は、栃木県のご出身で、宇都宮高校から慶應義塾大学経済学部に進学された。大学の4年次に一年間留年して、少年の時からのご願だったインド放浪の旅に出て、その時の体験がきっかけとなって、社会科学を基本から学び直そうと決意し、1972年に慶應義塾大学を卒業後、関西大学大学院経済学研究科に進学されたそうである。

大学院では故 重田晃一先生に師事して経済理論と経済学史を学び、修士論文のテーマは「シスモンディ経済学の方法について」であった。その後、博士後期課程では、主に価値と生産価格の問題を中心に経済理論的研究を重ねられ、1978年に経済学部の非常勤講師として英書購読を担当した後、1979年に専任講師に就任し、助教授を経て1997年に教授に昇任され、2015年に特別契約教授となって現在に至っている。小池先生は今年古希を迎えられ、来年3月末をもって退職を迎えられるが、大学院入学から数えて46年間の関西大学での生活を、また専任講師就任から数えて39年間の教員生活を終えられることになる。

小池先生の主要な研究業績は、「異端の経済学者」とも呼ばれるシスモンディの文献遺産に関する調査研究にある。これはイタリアのペツシャという町にある「シスモンディ・コレクション」を対象として、シスモンディ自身が公にした歴史関係・経済関係の主要な作品、シスモンディ自身によっては公にされなかった手紙や日記、草稿類、さらに、文学関係・宗教関係・法律関係や政治関係・時論的小品を調査し分類して、シスモンディの完全な文献目録を作成し、それを通して彼の時代的位置づけを明確にしようとするものである。この作業は継続中で、現在もなお調査研究の集大成を目指されているとのことである。

小池渺先生には、長年にわたる関西大学経済学部へのご貢献に深く感謝するとともに、今後いっそうのご壮健とご活躍をお祈り申し上げます。

2017年12月
編者を代表して
植村邦彦

小池渺教授 略歴・主要業績

略 歴

1947年	栃木県に生まれる
1972年	慶應義塾大学経済学部卒業
1974年	関西大学大学院経済学研究科修士課程修了
1977年	関西大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
1979年	関西大学経済学部専任講師
1987年	関西大学経済学部助教授
1997年	関西大学経済学部教授
2015年	関西大学経済学部特別契約教授（現在に至る）

主 要 業 績

1. 著書（共著・分担執筆）

- (1) 若森章孝・小池渺・森岡孝二著『入門・政治経済学』ミネルヴァ書房、2007年（第1章「人間と社会と自然」、第2章「市場経済の生成と商品」、第3章「波形と市場経済の発展」、第4章「市場の機能と欠陥」執筆、8～93頁）
- (2) 東井正美・森岡孝二編『政治経済学のアプローチ』ミネルヴァ書房、2000年（「資本の再生産と蓄積」執筆、51～71頁）

2. 論文・研究ノート

- (1) 「価値と生産価格（1）」、『千里山経済学』第9号、1975年10月
- (2) 「生産価格論と『資本論』第3部第10章の課題」、『千里山経済学』第10号、1976年10月
- (3) 「転化論研究序説——ボルトケヴィッチ批判」、『千里山経済学』第11号、1977年10月
- (4) 「ポーランドの社会主義運動の始期をめぐって——初期ローザ・ルクセンブルク研究との関連において」、『関西大学経済論集』第36巻第2・3・4号、1986年11月
- (5) 「初期ローザ・ルクセンブルクの社会主義運動論（序）」、『関西大学経済論集』第36巻第6号、1987年3月
- (6) 「シスモンディ研究序説——シスモンディの生涯と彼の遺産（1）」、『関西大学経済論集』第42巻第6号、1993年3月
- (7) 「シスモンディ研究序説——シスモンディの生涯と彼の遺産（2）」、『関西大学経済論集』第43巻第3号、1993年9月

- (8) 「シスモンディ研究序説——シスモンディの生涯と彼の遺産 (3)」、『関西大学経済論集』第43巻第5号、1994年1月
- (9) 「シスモンディ研究序説——シスモンディの生涯と彼の遺産 (4・完)」、『関西大学経済論集』第43巻第6号、1994年3月
- (10) 「シスモンディの「遺産」の構成上の変化と行方——1932年まで」、『関西大学経済論集』第44巻第5号、1995年1月
- (11) 「ベッシャ町立図書館所蔵の「シスモンディ・コレクション」の成立過程 (1)」、『関西大学経済論集』第44巻第6号、1995年3月
- (12) 「ベッシャ町立図書館所蔵の「シスモンディ・コレクション」の成立過程 (2・完)」、『関西大学経済論集』第46巻第6号、1997年3月

3. 翻訳

- (1) デヴィッド・マクレラン『アフター・マルクス』（重田晃一・松岡保・若森章孝・小池渺訳）新評論、1985年
- (2) ジェフリー・M・ホジソン『経済学とユートピア——社会経済システムの制度主義分析』（若森章孝・小池渺・森岡孝二訳）ミネルヴァ書房、2004年
- (3) リチャード・ベラミー&ダロウ・シェクター『グラムシとイタリア国家』（小池渺・奥西達也・中原隆幸訳）ミネルヴァ書房、2012年